

平成25年度入社スタッフフォローアップ研修（1回目）の開催

平成26年5月21日、入社1年経過した職員を対象としたフォローアップ研修が開催されました。

シフトを考慮し、5月と6月と同一内容で2回の実施を計画し、1回目の今回は17名の参加でした。

内容は、下記の表のとおりで、介護技術の再確認をはじめ、介護職に必要な医療知識やリスクについて、確認と更に理解を深めました。



1回目の参加職員 会場：大原の杜

研修のねらい

入社から1年が経過し、現在の自分の状況を本研修の中で、客観的にふり返ることで、課題を明確にします。同期の仲間とともに成功体験や失敗体験を共有し、業務に対する不安や悩みの解消と自ら考え動くことのできる職員となるよう、意識を高める機会とします。

研修科目	研修内容
介護実技	1. 座学で介助する上での基本や北欧式トランスファーの基本的な考え方など確認 2. 介護技術演習の前に全員で腰痛体操を実施 3. 関わっている中で、上手く介助できていないと思う事例について、どのような介助方法がいいのか、グループで話し合い、その方法について実際に起き上がりや移乗の動作を全員が行い理解を深めた。
基礎医療知識 ～状態の観察と緊急時の対応～	医行為とみなさない行為の確認から始まり、高齢者にみられる症状（発熱や喘鳴、チアノーゼ、胸苦・胸痛、嘔吐、便秘、浮腫、脱水など）についてポイントをまとめ説明。後半は、事例をもとにグループで対応を検討し、発表。
リスクマネジメント ～法令遵守の視点から考える～	リスクやリスクマネジメントについて冒頭、触れた後、介護事業に係るコンプライアンスリスクについて資料を見ながら確認。関係法令や諸規程は、一度ではなかなか頭に入らないため、「戻ってから確認したい」「理解を深めたい」という感想が多かった。
メンタルヘルス	組織内の対人関係と業務の質を維持向上させるため、自身のメンタルヘルスやストレスマネジメントの内容と方法について、個人ワークを通して学んだ。

